

利用者の皆さんへ

日頃から江の島ヨットハーバーをご利用いただきありがとうございます。

さて、このたび、利用者の皆さんからハーバースターなどにつきまして、いくつかの疑問が寄せられました。会社の組織運営に関することではありますが、正確な事実をお伝えするため、利用者の皆さんにご説明させていただきます。

まず、前ハーバースター桑名真彦さんについては、長年、湘南港の安全な運用に貢献していただきましたが、定年を過ぎましたので、今年の4月1日から、顧問の職を発令し、その実績に応じた処遇を図っているところです。現在、湘南港の勤務経験のある管理部長が着任し、ハーバースターの職を担っています。桑名顧問には、社員に対する教育、指導や緊急時、災害時における助言、指導など、今までの知識・経験を生かした業務を担ってもらっています。湘南港で培った知識、経験は大変貴重なものであり、当社としても、今後とも社員への研修、教育、実践に生かして、江の島ヨットハーバーの中で継承していきたいと思っております。

湘南港の管理運営については、オリンピックなどの国際大会の開催に備え、当社としても数年後を見据えた組織運営が求められています。昨年度までは、ポートサービス課の体制は、①従事者は50歳代半ば以上が大半で30歳代が1名だけという構成であり、年齢バランスがとれていないこと、②現業を除く正社員が親子2名に限られていたこと、③管理課とポートサービス課の業務が分断されその協力体制が十分でないこと等から、より柔軟で開かれた組織体制を図る必要がありました。

そこで、今年の4月から新たに若手職員を採用するなど増強し、また、管理課とポートサービス課の2課を管理部のもとに1本化し、さらにハーバー担当以外の社員にも資格取得や実地研修を積極的に行わせるなど、ハーバー業務の総合力の向上を図っています。

現在、行っている中堅社員の公募も、幅広く、知見を有する専門的な人材を求め、ハーバースターとして育成し、今後を見据えた組織の強化のために行うものであります。

湘南港の指定管理者として、安全で皆様に親しまれる運営を図ることが何よりも考えております。前のハーバースターが有した知識・技術は、社員がそれぞれ継承していき、スキルを磨き、組織を挙げて、ハーバー全体のポテンシャルの向上を図っていくことが重要であると思っております。また、海上保安庁や県警、消防署などとの連携、さらに競技団体等との協力体制をさらに強化していきたいと思っております。

来日した国際セーリング連盟の役員がオリンピック開催の江の島決定に関して、まず要因にあげたのが、江の島ヨットハーバーにおいては子供から、学生、高齢者まで幅広く多くの方々がセーリングを楽しんでいることでした。今後とも多くの皆様に楽しんでいただける、開かれた江の島ヨットハーバーを目指し、取り組んでまいりますので、利用者皆様のご支援をよろしく申し上げます。

平成28年8月1日

株式会社 湘南なぎさパーク